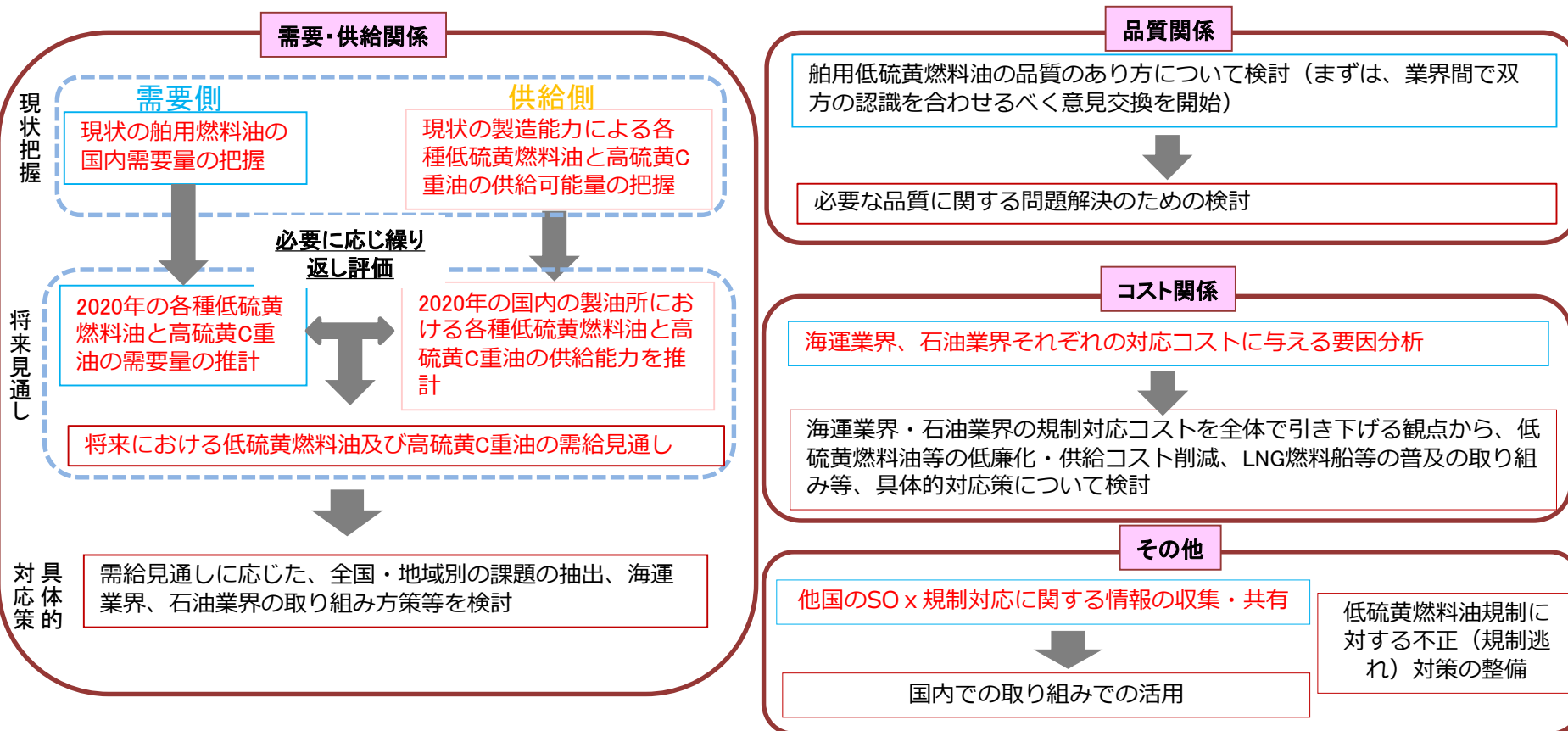


SO_x規制の実施と事業者の円滑な対応を確保することを目指し、相互に密接に連携して以下について取り組むこととする。

- (1)燃料油の需要・供給についての現状把握を踏まえた将来見通しを立て、適切な対応方策を検討すること
- (2)低硫黄船用燃料油について適切な品質のあり方を議論し、必要な対策を検討すること
- (3)海運業界、石油業界それぞれの対応コストへ影響を及ぼす要因を把握し、必要な対策を検討すること
- (4)その他海外のSO_x規制対応に関する情報を収集し、上記の検討への活用を図ること



赤字箇所は、TFへの付託事項

※検討にあたっては、需給・品質・コストそれぞれが密接に関係することに留意

タスクフォース(TF)の設置及び開催状況

タスクフォースへの付託事項

- ① 現状の船用燃料油の国内需要量を把握するとともに、2020年の船用燃料油の需要量を推計する。
- ② 現状の製造能力による低硫黄燃料油の供給能力を把握するとともに、2020年の船用燃料油の供給量を推計する。
- ③ ①及び②で推計した需要量及び供給量をもとに、将来の低硫黄燃料油及び高硫黄C重油の需給見通しを推計する。
- ④ 燃料油規制に係る供給側、需要側それぞれの対応コストへ影響を及ぼす要因を整理・分析する。
- ⑤ 他国におけるSO_x規制対応に関する情報、船用燃料油の需給情勢や市況、原油価格等の情報を収集する。
- ⑥ 低硫黄燃料油の品質のあり方について、石油業界、船用工業界等による調査等の進捗を把握する。

(注1)①～④を比較評価し、実現の見込める需給見通しを策定する。

(注2)その他、随時、連絡調整会議の進捗状況に応じて、付託事項の追加があり得る。

(注3)今後、検討の進展に応じ、別途TFの設置もあり得る。

タスクフォースの開催状況(第2回燃料油環境規制対応連絡調整会議(8月)以降)

2017年10月18日 第4回タスクフォース